

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>



ピンチヒッター

金森!!



～初めて参加した県人教大会～

 金森 央祐

10月22日に天草であった熊本県人権教育研究大会の分科会で大勢の人の前で、突然発表することになりました。僕の尊敬する衛藤先輩が発表予定だったのですが、どうしても出れなくなり、当日の朝に急ぎょ代読者として発表することになりました。

僕は、初めての県人教大会デビューだったので、ガチガチに緊張してしまいました。ちゃんと代読できるか心配でしたが、協力者の方のお手伝いで、どうにかちゃんと読めて良かったです。前半部分の衛藤さんの生い立ちの文章を読んでいて、涙が出そうになりながらもどうにかこらえながら読みました。昼休憩後、

質疑応答があり、僕の答えられる範囲で答えました。県人教も終盤になり、最後の発題者からの感想で、来られなかった「衛藤さんに来年参加してもらって、また読んで欲しいです。」と言おうと思ったのですが、緊張で自分の事を話してしまい、会場から笑いがおきました。

今回、県人教に参加して思ったことは沢山の人がいる前で発表をするのはやっぱり緊張してドキドキするなあと感じました。しかし、僕にとっていい経験になりました。いつかきっと、僕も衛藤さんのように、自分のことをみんなの前で発表できるようになりたいと思います。



2017年共同連全国大会 報告

『社会的事業所宣言』



♪ 9月2日～3日、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで、共同連大会があり、おれんじ村からも参加しました。

前田 佳与

今回、2度目の研修に行ってきました。昨年交流した方も、今年初めて会った方もたくさんの方と交流を深める中で、自分自身の考えや見方等の向上につながりました。

私が今回の研修の中で、今後すぐにでもおれんじ村で実践して生かしていけると考えたのは以下の内容です。

■ あんふあんカフェ

① 接客の仕方を改めて考える。

あんふあんカフェの店員さんの接客を見ると、どれも徹底していて、常にお客さんの目線に立ち、観察し、いつでもすぐ対応する体制をとっている。みんなで協力し、それぞれのお互いの性格や得意不得意を理解した上でカフェの運営をしている。連携しあいながら、一人ひとりが生き生きと仕事をしている様子がとても魅力的でした。まずは、誰が見てもわかるようなマニュアルづくりをし、まいペーすのカフェ運営を充実したものにすることがいいと感じた。

② おにぎりセットの開発を進める。

あんふあんカフェのおにぎりセットの写真を撮らせていただき、販売している場所や販売の仕方も含め、参考にさせていただいた。今考案中である、まいペーすでのおにぎりセット販売に向け開発を進めていけるよう、生かしていきたい。

■ 共同連滋賀大会

③ 働く際の「お試し期間」を設ける。

実習、パート等すでにおれんじ村で取り組まれている内容ではあるが、さらに実践に移していけるよう工夫できるといいと思う。おれんじ村の一通りの仕事を、たとえば、3日間ずつと決めて部署ごとに体験し、「共に働く」ことへの意欲を高めてもらえたらと考える。これを導入し、発展させていくことが、今のメンバーや今後仲間になるメンバーにとって有益につながると思う。

山添 阿香利

思い出にあること
♪ 仲間と一緒に頑張った!!
勉強頑張った!!



🍊 熱心に見学するあかりちゃん

上田 彩音

初めての共同連でした。初めて会った人と話しをして緊張したけど、だんだんいろいろな人と仲良くなって私は嬉しかったです。まず私が学んだのは、あんふあんカフェのお店の人が元気よく大きな声で「いらしゃいませ」って言う所です。私も小さな声で言うんじゃなくて、あんふあんカフェみたいに大きな声で接客したいと思います。あんふあんカフェの外でビデオを撮りました。いきなりでびっくりしました。

つぎにホテルに向かいました。ホテルの中に入るときれいな琵琶湖が見えました。がんばクッキーを作っている所に行きました。チラシ一枚一枚にしていきながら、重ねる所も見学しに行きました。とても思い出になりました。



🍊 共同連大会の様子



今年の夏も たくさんの出会いがありました

おれんじ村には、毎年たくさんの実習生がやって来ます。ほんの一部ですが、実習生の感想を紹介します。

熊本学園大学 坂本真紀

私が今回実習させていただいた中で一番学んだことは、障害のある方々の地域での暮らしについてです。おれんじ村には、地域の中で一人暮らしをされている方が何人もいて、様々なお話を聞かせていただきました。特に A さんからのお話では、たくさんのお話を学びました。A さんは 20 年以上一人暮らしをされており、初めのころは制度も整っておらず、ボランティアで同じアパートに住んでいる方や、学生に介助をお願いしていたそうです。おれんじ村で働きながら、街中で暮らしを配ったり、同市にある自立生活センターの方々と介助保障を市に訴えたりと、今の生活を獲得されてきたそうです。当時は現在以上に障害のある方への理解が少なく、働く場所や住む場所が少なかったのだと教えていただきました。しかし、現在はまだまだ完全ではないが、ある程度一人暮らしをしやすい、始めやすい状況であるため、若い世代の方々が自分たちの権利を主張しない、できない状況がとても気になると話してくださいました。

また実習の中で、放課後等デイサービスや「障害児を普通学校へ全国連絡会」へ行き、お話を伺うことができました。たくさんの方のお話を聞き、支援学校や支援学級のように気づかないうちに分けられていることを知りました。小さいころから分けるということが、一般の会社等で働くこと、一人暮らしを始めることが難しくなる、機会が奪われてしまうこともあることを知りました。健常者といわれる方々が「配慮」だと思っていることは、障害のある方には「差別」だと感じることもあるということも知りました。

今回の実習を通して、大学卒業後は障害者運動などに携わっていきたいと思いました。しかし私自身が主張したり、訴えていくのではなく、当事者の方々が自分自身の権利に気づき、主張していくお手伝いをしていきたいと思っています。

また、おれんじ村のことやこの実習で学んだことを、もっと多くの方に知っていただきたいと思いました。まずは、私の友人から話してみようと思います。

実習をさせていただき、ありがとうございました。

熊本学園大学 土屋祥吾

実習先が決まり、正直なところ初日まで不安でした。しかし、いざ初日に行ってみると、皆さんが笑顔で迎えてくださり、すぐに緊張がほぐれたのを今でも明確に覚えています。初日は、製造での実習でおれんじ村の自社製品である、クッキー、サーターアングギー、焼きかりんとう、フロランタンの生地を作りました。私は、母の働いていた老人ホームや学校の授業で見た施設の様子などで自分の中にイメージしていたものがありましたが、実際に実習に行くと、支援する、されるの関係ではなく、共に働くということが目に見えてわかりました。私の中でいい意味で常識が覆されたと感じました。おれんじ村には、全員で 30 名ほどいらっしゃいますが、最初のほうは毎日実習の場所が変わるのでなかなか名前を覚えるのが大変でした。最初の 3 日間からお盆休みで少し時間があいたりして、名前を覚えることが難しい状況の中で、自分から積極的に話しかけに行ったりして、まずは自分の名前を覚えてもらうことに努めました。

後半からは、熊本学園大で行われた全国連絡会への参加や放課後等デイサービス・にじいろ、被災地障害者センターへの 2 日間ずつの実習をさせていただきました。にじいろでは、障害のある子からない子まで様々な子どもたちと接することができました。十人十色という言葉があるように子どもたち一人ひとりが素晴らしい個性を持っていて、私自身が持っていない考えを話してくれたり、行動で示してくれることでいろんな観点のもの見方があるということに気付くことができました。しかし、叱るときはその子その子にあった対応が必要だったので少し大変でした。

被災地障害者センターでは、障害のある方の家やアパートが地震の影響で解体されるという時に、家の中の片づけなどの支援を行うということをやっていました。私もその作業を体験させて頂いたが、肉体労働でこれをほぼ毎日していると聞いて驚きました。現在バリアフリー仮設に暮らしている方ともお話しさせて頂き、地震の時の状況などを聞くことができました。

おれんじ村での 23 日間は私にとってとても大きなものでした。おれんじ村で学んだことこれから社会に出たときに生かせるようにがんばっていきたいです。ありがとうございました。



実習生の皆さんお疲れ様でした



大学生と懇談中です



もちつき大会を 開催します!!

12月25日^月
13:30~

参加費無料!!

飛び入り大歓迎!!



連絡先

場 所：おれんじ村事務所
熊本市東区长嶺南1丁目5-40
電 話：096-382-0861



※エプロン・三角巾・持ち帰り用の容器をご準備下さい

編集後記

こんにちは。だいぶ寒くなりましたね。木々も色づき始めて紅葉もきれいになり、なんだか秋になってるんだなあーと実感しています。

県人教大会では、発表できずにとっても残念です。自分の体験が少しでも伝わり、地域の学校に一人でも多くの子どもたちが通い、学べるようになるといいなあと思っています。そして、何よりも急きよ代役として発表してくれた金森さんには感謝しています。本当にありがとうございました。来年は、ぜひ自分の声で、みなさんにお話したいと思っています。

いよいよ、年末も近づき、毎年恒例のおれんじ村のもちつき大会を12月25日に予定しています。これを機会に、一人でも多くの方と出会えることを楽しみにしています。おれんじ村一同、お待ちしております。

WITHと一緒に、冬のギフトと2018年のカレンダーのチラシを同封いたします。よろしければ、ご注文をお待ちしています。日に日に寒くなっています。みなさま、お身体にはお気をつけください。